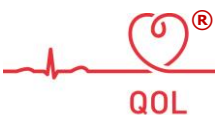




**SAFETY**  
CREATE VALUE  
**LEADERSHIP**  
HEALTHY SOCIETY  
**WIN A BETTER QUALITY OF LIFE**  
INNOVATION  
PARTNERSHIP  
TRUST

# 2018年3月期 第2四半期 決算説明資料

ウイン・パートナーズ株式会社 (3183)  
代表取締役社長 秋沢 英海



# 2018年3月期 第2四半期累計 決算概要

---

# 2018年3月期 第2四半期累計実績

(単位：百万円)

	前期2Q実績	当期2Q実績	前年同期比	期初計画
売上高	27,713	<b>29,753</b>	+7.4%	29,500
営業利益	1,436	<b>1,497</b>	+4.3%	1,520
経常利益	1,438	<b>1,499</b>	+4.3%	1,520
四半期純利益	982	<b>1,018</b>	+3.7%	1,040
1株当たり四半期純利益(円)※	34.21	<b>35.49</b>	—	—
1株当たり純資産(円)※	498.90	<b>549.20</b>	—	—

※2017年1月1日実施の1：2の株式分割後

# 第2四半期までの主な取り組み

## ◆ マルチ・スペシャリティ化支援の推進

---

CVSがPCI、CRSに続く柱に成長

## ◆ 新規顧客開拓

---

第2四半期から首都圏の大型施設と新規取引開始

## ◆ 大沢商事（現 テスコ秋田販売）<sup>※</sup> 子会社化決定

---

第3四半期（10月1日）から連結取り込み  
東北でのシェア拡大へ

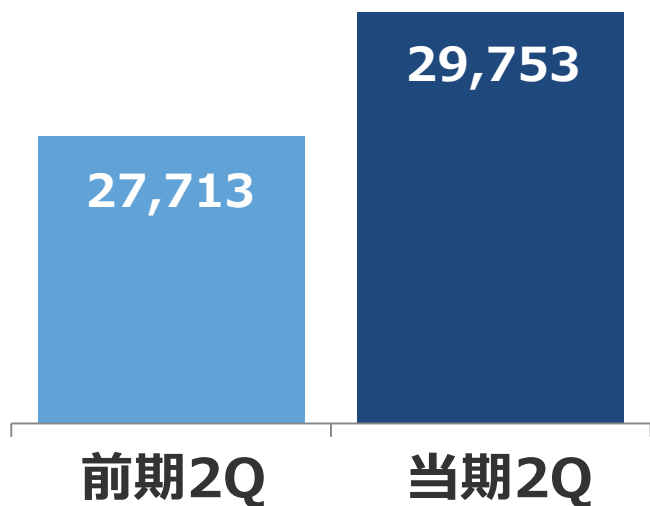
※2017年11月1日付で社名変更

# 決算のポイント

売上高 <sup>前年同期比</sup> + 7.4% ( <sup>計画比</sup> + 0.9% )

---

(単位：百万円)



**CVSとPPIが2桁成長**  
**大型機器以外は増収を確保**

**新規大型施設の獲得も寄与**

# 分類別売上高の状況

	金額 (百万円)	前年同期比 (%)		売上高構成比	
		数量	金額	比率 (%)	増減 (pt)
虚血性心疾患関連 (PCI)	11,055	+5.3	+5.4	37.2	▲0.7
心臓律動管理関連 (CRS)	7,034	+6.0	+6.6	23.6	▲0.2
心臓血管外科関連 (CVS)	3,787	+4.7	+21.4	12.7	+1.5
末梢血管疾患関連 (PPI)	1,571	+18.7	+12.3	5.3	+0.2
脳外科関連	981	▲ 1.6	+3.0	3.3	▲0.1
糖尿病関連 (DMS)	517	-	+15.7	1.7	+0.1
大型医療機器関連	2,307	-	▲1.0	7.8	▲0.7
その他	2,497	-	+5.4	8.4	▲0.2
合計	29,753	-	+7.4	100.0	

# 分類別売上高ハイライト（対前年同期）

【対計画】

**PCI**

既存施設を中心に症例数が順調に拡大  
バルーンカテーテルは2桁増収に



**CRS**

MRI対応ペースメーカーが好調  
アブレーション関連は前年の高成長の反動もあり5%増収



**CVS**

TAVIの症例数が大幅に拡大、関連製品売上高は約2倍に  
ステントグラフトは堅調に推移



**PPI**

PTAバルーンカテーテルが数量・売上高ともに2桁増



**大型医療  
機器関連**

東北の復興需要関連の大型案件が一巡し減収に

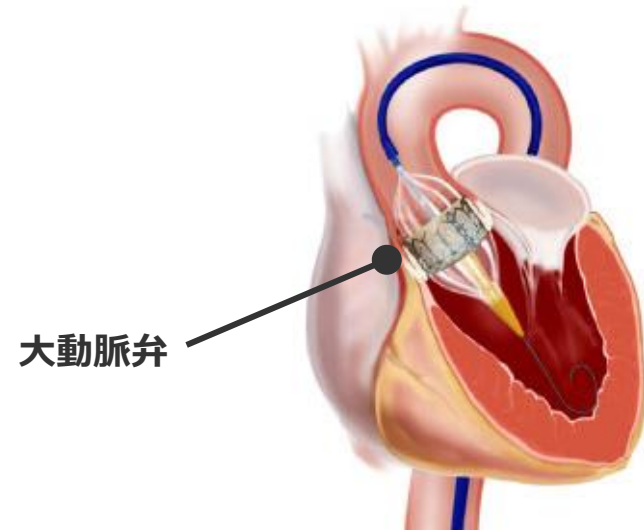
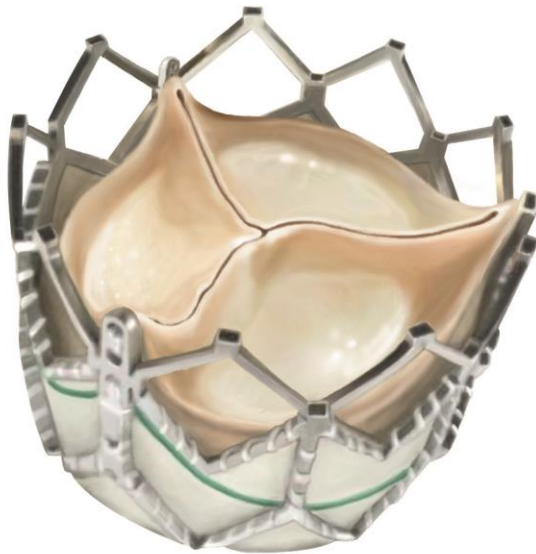


# CVSハイライト

TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)が急拡大

認定施設となる顧客が増加し新たな成長領域に

TAVI用生体弁



【大動脈弁狭窄症】

カテーテルで生体弁を大動脈弁の位置に留置



# 決算のポイント

営業利益 <sup>前年同期比</sup> + 4.3% ( <sup>計画比</sup> ▲1.5% )

(単位：百万円)

売上総利益率 0.2pt 悪化

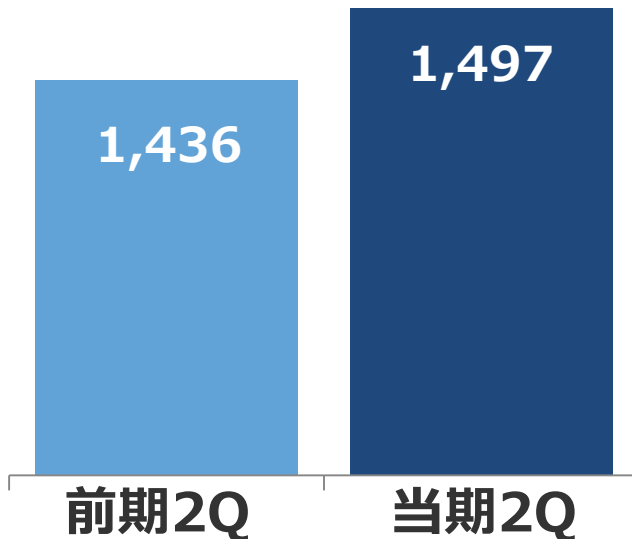
PCIとPPIで改善した一方、  
CVSと大型機器で悪化

販売管理費 +7.1%

うち人件費は +5.9%

〔人員数〕前期末 447名 → 当期9月末 471名

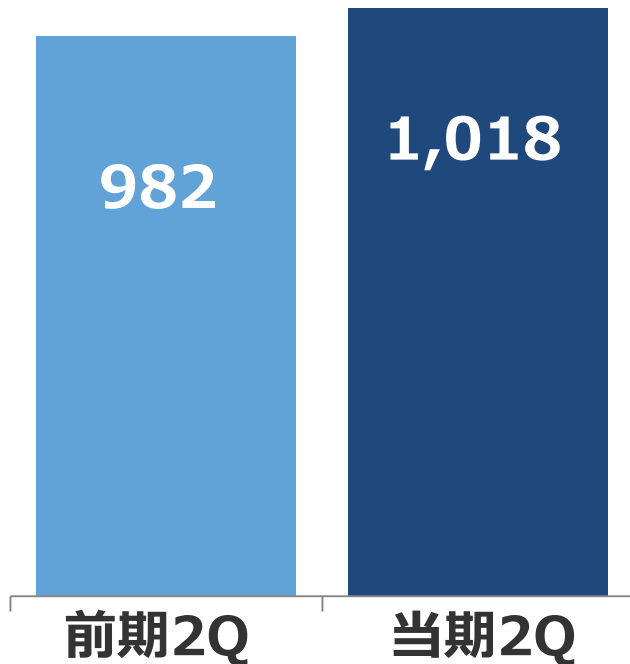
本社移転費用により売上高販管費比率は横ばい



# 決算のポイント

当期純利益 <sup>前年同期比</sup> + 3.7% <sup>計画比</sup> (▲2.1%)

(単位：百万円)



本社移転関連の特別損失  
16百万円を計上

# 連結損益計算書

	前期2Q		当期2Q	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
<b>売上高</b>	<b>27,713</b>	<b>100.0</b>	<b>29,753</b>	<b>100.0</b>
売上原価	24,091	86.9	25,914	87.1
<b>売上総利益</b>	<b>3,622</b>	<b>13.1</b>	<b>3,839</b>	<b>12.9</b>
販売管理費	2,186	7.9	2,341	7.9
<b>営業利益</b>	<b>1,436</b>	<b>5.2</b>	<b>1,497</b>	<b>5.0</b>
営業外収益	2	0.0	2	0.0
営業外費用	0	0.0	0	0.0
<b>経常利益</b>	<b>1,438</b>	<b>5.2</b>	<b>1,499</b>	<b>5.0</b>
特別利益	-	-	-	-
特別損失	0	0.0	16	0.1
<b>税前利益</b>	<b>1,437</b>	<b>5.2</b>	<b>1,483</b>	<b>5.0</b>
税金費用	455	1.6	464	1.6
<b>四半期純利益</b>	<b>982</b>	<b>3.5</b>	<b>1,018</b>	<b>3.4</b>

# 連結貸借対照表

	2017年3月末		2017年9月末		増減 (百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
<b>流動資産</b>	<b>30,395</b>	91.6	<b>29,516</b>	<b>87.8</b>	<b>▲878</b>
現金・預金	11,954	36.0	9,283	27.6	▲2,671
売上債権	15,597	47.0	17,441	51.9	1,844
商品	1,862	5.6	1,993	5.9	131
その他流動資産	980	3.0	798	2.4	▲182
<b>固定資産</b>	<b>2,792</b>	8.4	<b>4,104</b>	<b>12.2</b>	<b>1,312</b>
<b>資産合計</b>	<b>33,187</b>	100.0	<b>33,621</b>	<b>100.0</b>	<b>433</b>
<b>流動負債</b>	<b>16,964</b>	51.1	<b>17,082</b>	<b>50.8</b>	<b>118</b>
仕入債務	15,765	47.5	16,031	47.7	266
未払法人税等	486	1.5	466	1.4	▲19
その他流動負債	712	2.1	584	1.7	▲128
<b>固定負債</b>	<b>729</b>	2.2	<b>771</b>	<b>2.3</b>	<b>41</b>
<b>負債合計</b>	<b>17,694</b>	53.3	<b>17,854</b>	<b>53.1</b>	<b>160</b>
<b>純資産合計</b>	<b>15,493</b>	46.7	<b>15,766</b>	<b>46.9</b>	<b>273</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>33,187</b>	100.0	<b>33,621</b>	<b>100.0</b>	<b>433</b>

月末休日  
による  
未回収分等

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期2Q	当期2Q
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,898</b>	<b>▲562</b>
税金等調整前四半期純利益	1,437	1,483
減価償却費	119	120
売上債権の増減額（▲は増加）	1,196	▲1,844
たな卸資産の増減額（▲は増加）	▲65	▲118
仕入債務の増減額（▲は減少）	302	253
法人税等の支払額	▲738	▲488
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲79</b>	<b>▲1,363</b>
有形固定資産の取得による支出	▲68	▲98
投資有価証券等の取得による支出	-	▲1,250
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲588</b>	<b>▲746</b>
配当金の支払額	▲588	▲746
<b>現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）</b>	<b>1,230</b>	<b>▲2,671</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>9,285</b>	<b>11,954</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>10,516</b>	<b>9,283</b>

# 今後の見通し

---

# 医療供給体制の課題

## ① 医療費の抑制

---

**長期:** 病床機能の分化促進

**短期:** 2018年診療・介護報酬同時改定以降、毎年改定の可能性

## ② 医師の偏在

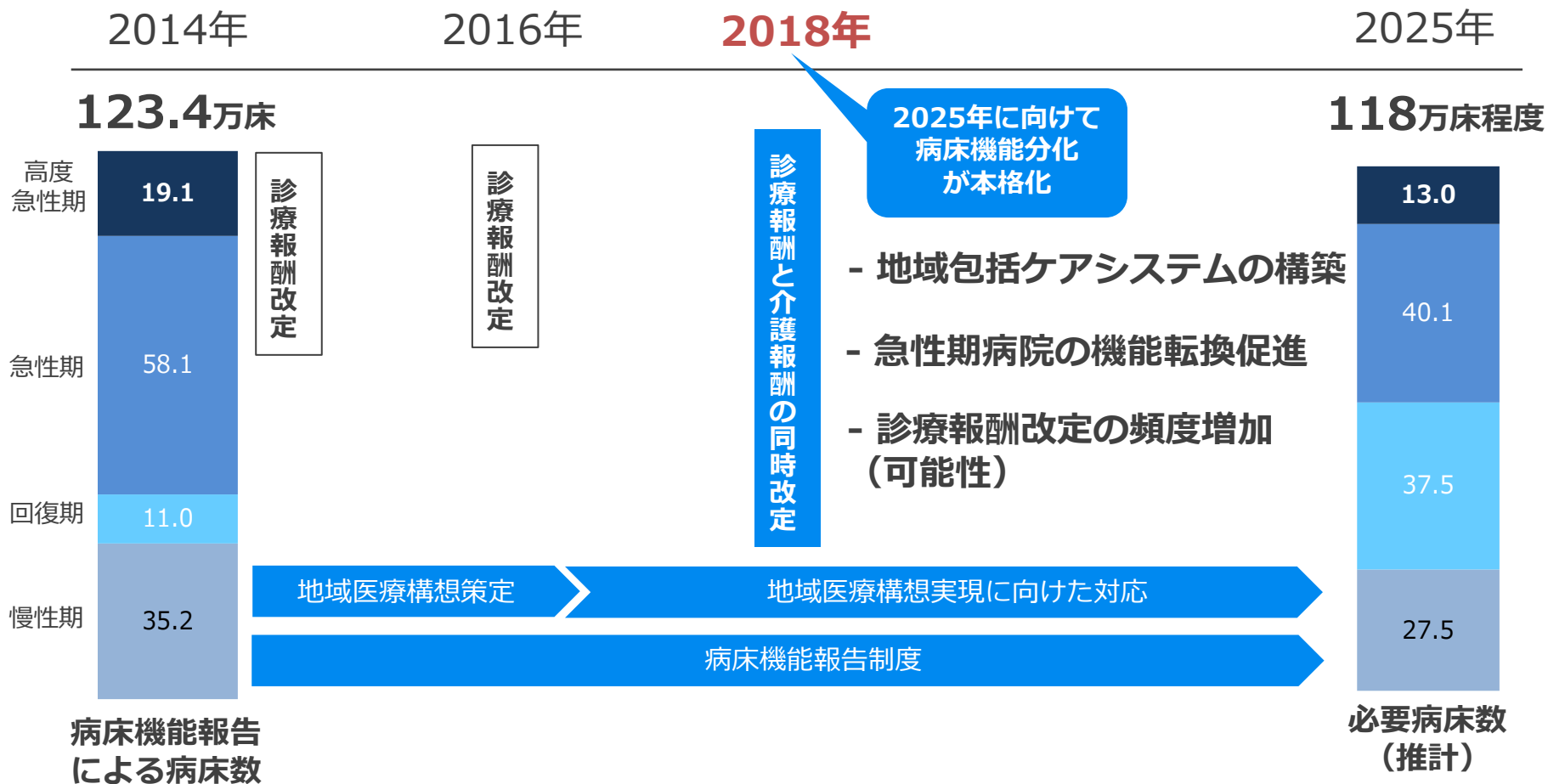
---

地域の偏在

診療科目の偏在

# 医療費の抑制

## 医療制度改革と2025年の必要病床数推計

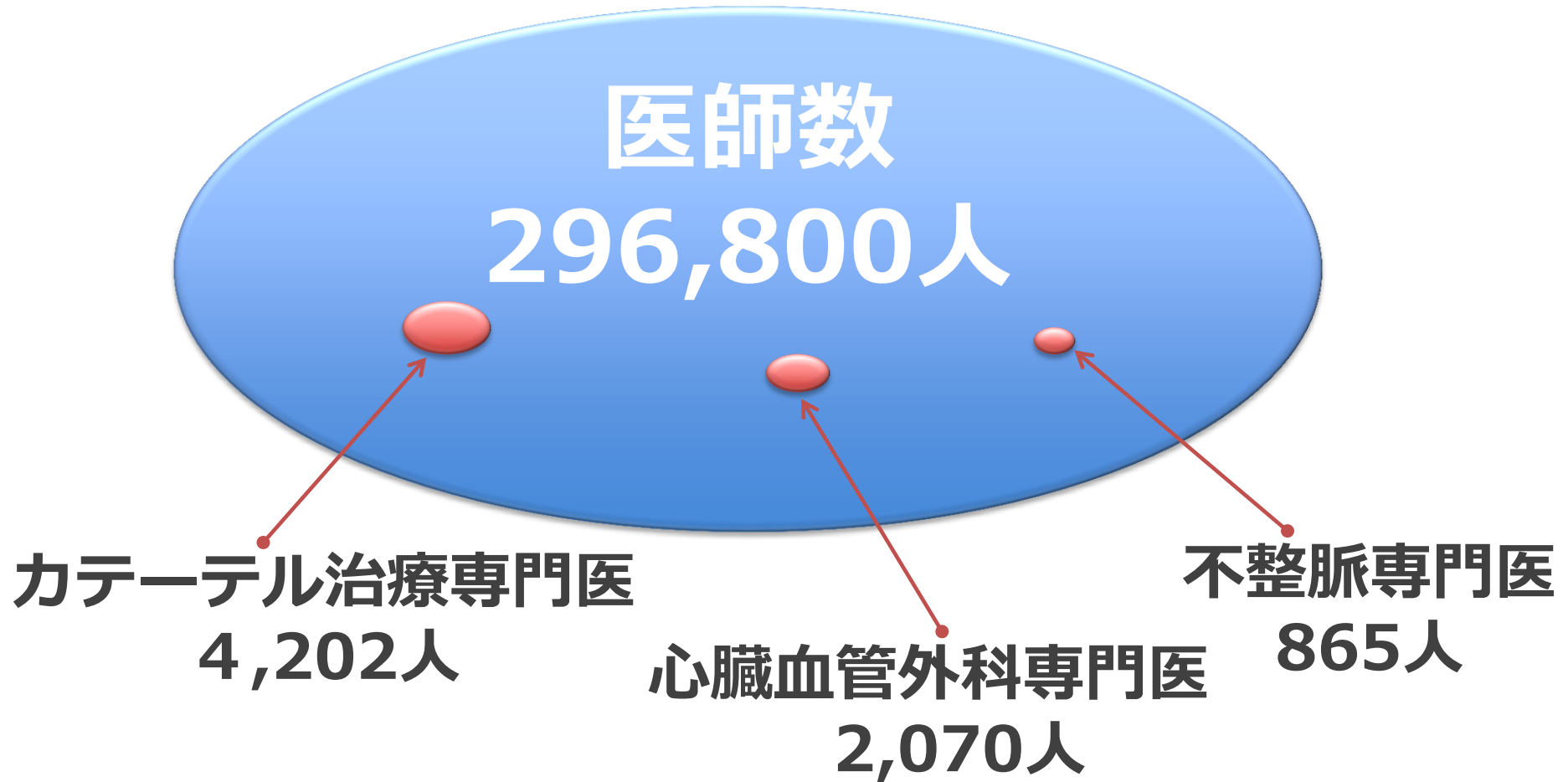


※内閣官房「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会 第1次報告」(2015年6月15日)に基づき当社作成  
(<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/shakaihoshoukaikaku/houkokusyo1.pdf>)



# 医師の偏在

---



(出典: 厚生労働省 (医師数2014年12月)、日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT認定医、専門医2016年)、日本不整脈心電学会 (不整脈専門医 2017年4月))

# 顧客の状況

---

- ① PCI・CRS・CVSのバランスがとれた顧客病院が成長
- ② 急性期病院の多くは機能維持や機能強化を希望

# 下期の重点施策

---

✓ 増患・増症例支援の強化

- 機能強化・転換支援

✓ M&Aによる業容拡大とPMI

# 増患・増症例支援の強化

---

## 顧客病院の マルチ・スペシャリティ化を支援

- ①他科への進出提案： 循環器内科 ⇒ 心臓外科
- ②治療領域の拡大提案： TAVI
- ③医療施設間連携サポート： 患者および医師紹介
- ④医師の研修サポート： 国内およびインド

# M&Aによる業容拡大とPMI

## テスコ秋田販売<sup>※</sup>（旧 大沢商事）を子会社化

- 東北でのシェア拡大  
下期で15億円程度の増収要因
- グループ入りによるスケールメリット  
を活かし収益性改善  
来期以降の利益貢献を目指す



※2017年11月1日付で社名変更

# 2018年3月期 通期予想

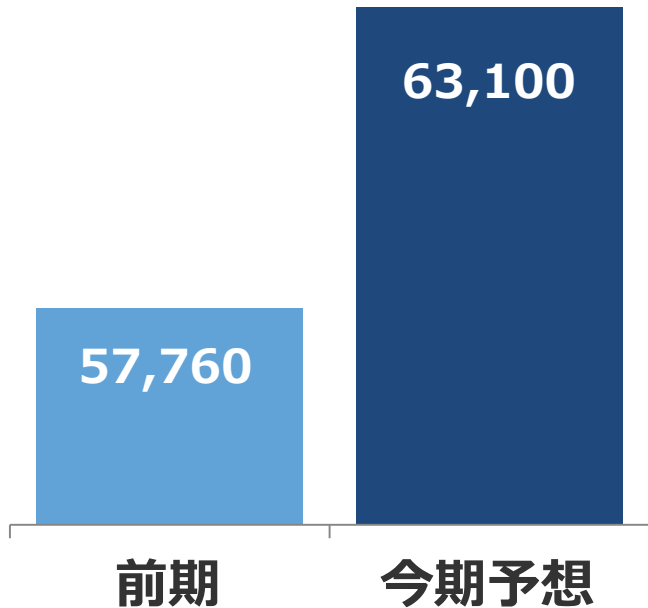
テスコ秋田販売の下期業績を反映（のれんは精査中）

2018年3月期	金額（百万円）	百分比（%）	前期比（%）	期初予想
売上高	63,100	100.0	+9.2	61,600
営業利益	3,250	5.2	+6.3	3,250
経常利益	3,250	5.2	+6.1	3,250
当期純利益	2,230	3.5	+4.2	2,230
1株当たり当期純利益(円)	77.68			
1株当たり配当金（円）	27.00			

# 業績予想のポイント

売上高 <sup>前期比</sup> +9.2%

(単位：百万円)



## 既存顧客の深耕

- ・ マルチスペシャリティ化支援の提供

## 新規顧客の獲得

- ・ 大学病院
- ・ 地域中核病院
- ・ 糖尿病関連施設

## テスコ秋田販売の貢献

## 分類別見通しを修正

# 分類別売上高見通し

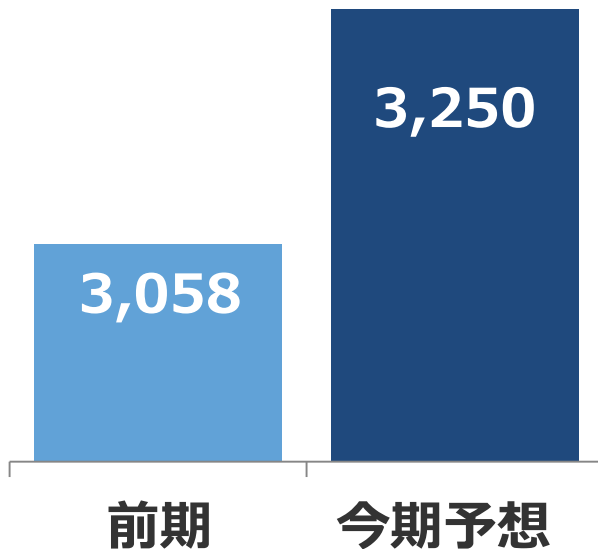
(単位：百万円)	金額	前期比	構成比	期初計画
虚血性心疾患関連 (PCI)	23,500	+9.2%	37.2%	23,960
心臓律動管理関連 (CRS)	15,360	+13.4%	24.3%	15,130
心臓血管外科関連 (CVS)	8,600	+28.9%	13.6%	7,380
末梢血管疾患関連 (PPI)	3,140	+10.2%	5.0%	3,120
脳外科関連	1,990	+1.0%	3.2%	1,970
糖尿病関連 (DMS)	1,070	+12.3%	1.7%	1,070
大型機器関連	4,760	▲9.5%	7.5%	4,770
その他	4,680	▲6.4%	7.4%	4,200
合計	63,100	+9.2%	100.0%	61,600



# 業績予想のポイント

営業利益 前期比 **+6.3%**

(単位：百万円)



売上総利益率 **13.2%** (前期比 **+0.1pt**)

- ・一括買い取りの拡大や価格交渉により改善を目指す
- ・テスコ秋田販売子会社化の影響は軽微

販売管理費 前期比 **+12.4%**

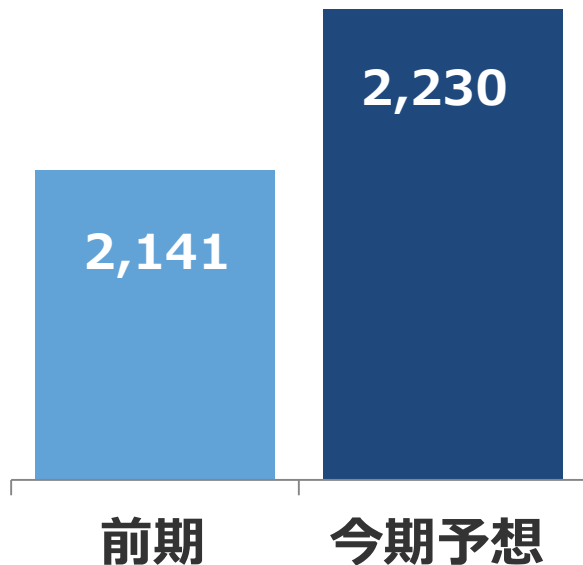
- ・期初計画にテスコ秋田販売分を増額
- ・人員計画を見直し 期初計画 **491名** ⇒ **531名**  
(前期末：**447名**)

# 業績予想のポイント

当期純利益 前期比 **+4.2%**

テスコ秋田販売子会社化に伴うのれんの影響額は精査中

(単位：百万円)



設備投資 **1.0億円**  
(前期実績 **1.4**億円)

減価償却費 **2.4億円**  
(前期実績 **2.5**億円)

# 配当方針

業績、経営基盤の強化および  
将来の事業展開等を総合的に勘案しながら

配当性向**30%**以上を目指します

**2018年3月期 配当金予想**

**期末27円**

# 株価推移

(単位:円)



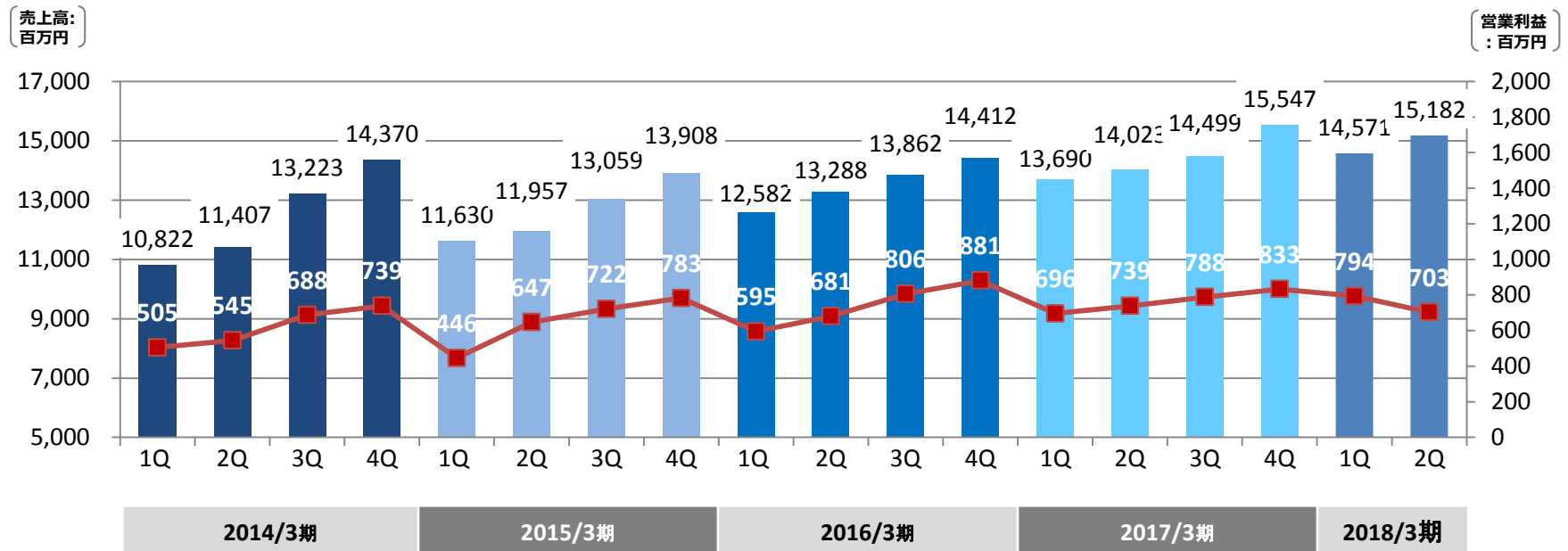
# (参考) 主要取扱製品

分類	主な疾患	主な医療機器			
<b>PCI</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭心症</li> <li>・心筋梗塞</li> </ul>	PTCAバルーンカテーテル	薬剤溶出型ステント (DES)	血管内超音波診断カテーテル (IVUS)	
					
<b>CRS</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不整脈</li> </ul>	ペースメーカー	植込型除細動器 (ICD)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器 (CRTD)	心筋焼灼術用カテーテル
					
<b>CVS</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大動脈瘤</li> <li>・大動脈弁狭窄症</li> </ul>	ステントグラフト	経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI)用生体弁	機械弁	
					
<b>PPI 脳外科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢閉鎖性動脈硬化症</li> </ul>	末梢血管用ステント	頸動脈用ステント	塞栓用コイル	
					
<b>DMS 大型医療 機器</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病</li> <li>・検査</li> </ul>	インスリンポンプ	移動式X線撮影装置	磁気共鳴画像診断装置(MRI)	
					

# (参考) 四半期業績推移

■ 売上高  
■ 営業利益

## 売上高／営業利益の推移(四半期)



■ = 償還改定期



**WIN PARTNERS**  
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

## ロゴマークについて

幸せの象徴、青い鳥が向かい合ってつくる「W」  
それは私たちの頭文字であり、企業や人とのパートナーシップを表しています。  
三角形はひとつひとつの企業を表し、より良い社会に向けて自在に形を変え、  
進化しながら高みを目指す私たちの企業姿勢を伝えます。

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。  
当資料に記載された内容は、2017年11月21日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

**本資料に関するお問合せ先**  
**ウイン・パートナーズ株式会社 社長室**  
**TEL : 03-3548-0790 FAX : 03-3548-0791**  
**HP : <http://www.win-partners.co.jp>**